

名古屋支部の同窓会は、毎年7月の第2土曜日に開催し、年1度の支部の集まりをより有意義な機会とすべく、母校から講師をお招きし講演をお願いするとともに、母校の近況もお伺いしながら懇親する事を恒例としております。

本年は、7月10日三菱東京UFJ銀行主税町クラブで開催し、同窓生32名が集いました。

まず、支部同窓生ショートスピーチとして、堀川の水辺を守る会で活動されておられる正田要一氏(昭和52年商学部卒)が、「堀川とCOP10」というテーマで、名古屋築城のため開削された堀川の歴史と浄化に向けた取り組み、危機にある生物多様性の状況や環境問題への取り組みの重要性について話されました。

母校からは、国際総合科学部教授の三浦敬先生に、「会計基準の国際化という名の覇権争い」というテーマで講演をいただきました。

国際的な活動を展開する上場企業の連結財務諸表に、国際会計基準(IFRS)が適用できるようになり、今後強制適用の動きがある中、これまでのEU、米国の会計基準国際化に向けた取り組みや主導権争いの状況と、我が国の今後の課題について解説いただきました。

その後のパーティを含め懇親の和は広がりましたが、やや出席者が少ないのが残念であり、名古屋近郊の同窓生の皆様のより多くのご参加を期待しています。

(事務局 野崎 裕二 電話 052-822-6300)

メール：nozaki-y@msd.biglobe.ne.jp